

2020 年度資格更新研修『パワハラ防止法の施行に伴い、企業で取り組むべき準備』講評  
日本メンタルヘルス講師認定協会 更新研修検討委員会

1. パワハラ防止法施行も近く、関心も高いこともあり、内容的にはかなり共通項が多かったようです。整理すると以下の通りです。
2. 多くの方が触れていた項目
  - a) 経営トップあるいは事業所としてのパワハラを許さないといった方針の周知
    - メンタルヘルスや健康経営の視点でも不可欠とあってよいほど重要。
  - b) 就業規則(社内規定)でパワハラについて規定する
    - どのような行為が許されないのか、違反した場合の罰則はどうか
  - c) 相談窓口の設置
    - 社内だけではなく外部窓口もあることが望ましいです。
    - 相談したこと、その内容についての個人情報保護、相談したことによる不利益取扱い禁止
  - d) 教育や研修(従業員一般)
    - 教育や研修については「定期的に」とか「継続して」といった言葉を足すとベターでしょう。
    - 教育や研修は事前のもの、再発防止のもの、いずれもあり得ます。
  - e) パワハラについてのアンケートやヒアリング
    - 「定期的に」といった言葉を足すとベターでしょう。
    - 匿名でもよいという視点もあり得ます。
  - f) 事実関係の迅速な確認および適切な対処
  - g) 個人情報保護
  - h) 相談したことによる不利益取扱い禁止
3. 少数の方が触れていた視点・項目
  - a) コミュニケーション能力の向上
    - 行為者(加害者)と被害者は多くの場合コミュニケーションが上手くいっていない。具体的にはアサーティブ等のスキルが想定されます。b)c)も同じ。
  - b) 健全なコミュニケーション
  - c) コミュニケーションの活性化、円滑化
  - d) 上司と部下の価値観の違いを互いに尊重する雰囲気醸成
  - e) 相談窓口担当者への教育
    - 一般の従業員に対する教育とは異なり、相談場面で求められる傾聴力や秘密保持の重要性について

- f) e ラーニングでの研修
- g) 他のハラスメントと一体的な相談窓口
  - パワハラとセクハラといったように複数のハラスメントが同時に問題となることもあり、その場合には一元的な対応が効果的といわれています。
- h) 第三者からの情報提供
- i) 人事部門やトップに直接情報が入るような通報制度
- j) パワハラが発生しないような企業文化の確立
  - 「健康職場モデル」(エキスパート知識講座 p17 参照)を意識したアプローチも十分あり得ます。
- k) マネジメント力向上を含む組織風土作り
  - j)と似ていますが、上司は部下の結果を評価するより、どうすれば部下がよい結果を出せるか具体的な指導やサポート力が求められると言えるでしょう。
- l) 業務目標の見直し
  - 無理なノルマがパワハラに繋がることは少なくないと思われます。
- m) カスタマーハラスメント
  - 他の論述とのバランスを崩さない程度に触れることはよいでしょう。次の n)o)についても同様です。
- n) メンタルヘルス
- o) ストレスチェック

#### 4. 更新研修検討委員会からのコメント

イ) 今回の課題は「パワハラ防止法の施行に伴い、企業で取り組むべき準備」というものであって、「パワハラについて述べよ」というものではありません。

したがって、パワハラ防止の必要性や厚労省のパワハラの種類、メンタルヘルスについて触れる場合は短くした方がよいでしょう。

ロ) ちなみに厚労省の HP の項目ではポイントは以下のように考えられます。

- 1) 事業主の方針等の明確化及びその周知・啓発  
主なキーワードの例: 事業主の方針 就業規則 研修・講習 周知・啓発等
- 2) 相談(苦情を含む・以下同じ)に応じ、適切に対応するために必要な体制の整備  
主なキーワードの例: 相談窓口等
- 3) 職場におけるパワーハラスメントに係る事後の迅速かつ適切な対応  
主なキーワードの例: 事実関係の迅速・正確な確認 被害者への適正な措置行為者(加害者)への適正な措置等

4) 1)~3)までの措置と併せて講ずべき措置

主なキーワードの例: プライバシー保護 不利益な取扱いの禁止等

5) 事業主が職場における優越的な関係を背景とした言動に起因する問題に関し行うことが望ましい取組みの内容

主なキーワードの例: 他のハラスメントと一元的に相談できる窓口の整備 コミュニケーションの活性化や円滑化のための研修等

ハ) 以上のポイントを意識して、再度文章を作ってみてはどうでしょうか。

必ずしも、1)~5)すべての要素・項目を盛り込む必要はありませんが、重要度・優先順や文章の流れ(論理性)、記述のボリューム(字数)≒メリハリといったものを意識すると理解が深まると思います。

以上